

金剛小通信 12月 DIAMOND

卒業証書用紙づくり

学校づくり協議会委員もお願いしている徳澄幸治様ご夫妻に、平成7年から25年間の長きに渡ってお世話になり続けた「手漉きイ草和紙による卒業証書用紙づくり」の『最終回』を11月20日（金）に実施しました。そのときの様子は、取材していただいた『熊日新聞』の記事にもなりました。

本年度も、まず16日（月）に一度お越しいただき、「九九には形がある？」「紙とは何か？」などで『疑問符』を『感嘆符』にしよう」という講話をいただきました。今年の6年生の子供たちはなかなか反応がよく、いろいろな意見を出していました。「疑問が大きいほど謎が解けたときの感嘆符は大きい！まず、やってみること。自分で考えること。学び続けること。」という、一生もち続けて欲しい大切な考え方・視点を授かりました。こちらの様子は『エフエムやつしろ（かっぱFM）』で放送していただきました。

紙漉きの歴史があり、イ草で名を馳せたこの八代に生まれ育った子供としては、この上なく誇らしい卒業証書を手にすることになります。しかも『自作』で、みんなで協力して、6年間の思い出をしっかりと漉き込みました。卒業証書授与式を楽しみにしてください。

修学旅行

先月25・26日（水・木）に6年生が行ってまいりました。貸切の大型バス2台で高速道路を使い、熊本港から島原港までオーシャンアローで海を渡って長崎市内に到着。ホテルニュータンダで昼食後、語り部さんのお話を聞いて平和学習をしました。平和公園で昨年塗り替えられた平和祈念像の前で集会をして美しい歌声を響かせて平和を誓ってきました。その後、「さるくガイド」さんの詳しい解説付きで、如己堂、浦上天主堂、原爆落下中心地、山里小学校を巡り、原爆資料館を見学して、宿泊は世界三大夜景、百万ドルの夜景を一望できる稲佐山観光ホテル。屋上からみんなで眺めました。

二日目は高速道路で佐世保に向かい、ハウステンボスを、班別行動でしっかり協力しながら、お昼ご飯も含めて目一杯楽しみました。佐世保和泉屋で、これまた楽しみにしていた買い物をしたら、長崎を後にし、学校に帰ってきました。

担任の指導の下、規律を守り協力して行動する子供たちの姿からは事件も事故もなく過ごせることが予見できましたし、実際に二日間安心して引率できました。子供たちは見聞を広め、一回り大きくなって帰ってくることができたと思います。

時期が少し遅くなった分、旅行までの間にたっぷり学習してきたことを生かし、助け合いながら立派な態度で二日間を過ごすことができた仲間たち。リーダーとしての力を確実に向上させ、卒業に向かう学級・学年の絆も、よりいっそう深めることができました。

租税教室

12月9日（水）、6年生を対象に「次世代を担う児童に税の意義や役割を正しく理解させる」ことを目的として県南広域本部八代地域振興局総務部から収税課と課税課のお二人にお越しいただき開催しました。授業では税の種類についての説明があり、集められた税金で暮らしやすい世の中がとらられているということを知ることができました。学校で授業を受けるのに一人毎月7万円かかり、1クラスが小学校6年間に使われる税金が1億円ということで、1億円分の札束のレプリカを見せてくださいました。しっかり勉強し、なりたい職業に就き、きちんと納税できる人になって欲しいと思います。